
OB 通信

2010 年 No.1
(2010.1)

第 64 回宮城県駅伝競走大会

- ・東北大学 A チームが 4 位入賞

第 25 回宮城県女子駅伝競走大会

- ・東北大学は 5 位入賞

第 204・205 回日本体育大学長距離記録会

- ・自己ベスト更新者が続出
- ・大場直樹(3)が男子 5000m で東北大歴代 3 位となる 14' 38" 72、
永井瑞希(M1)が女子 5000m で東北大歴代 2 位となる 17' 29" 60 を記録

第 12 回仙台市陸協長距離競技会

- ・島田健作(M1)が男子 3000m で東北大歴代 2 位となる 8' 59" 88 を記録
-

- ・平成 22 年度 会費納入のお願い
-

～目次～

- ・今年の抱負2~4 ページ
- ・第 64 回宮城県駅伝競走大会5~6 ページ
- ・第 25 回宮城県女子駅伝競走大会6 ページ
- ・第 204・205 回日本体育大学長距離記録会7 ページ
- ・第 12 回仙台市陸協長距離競技会8 ページ
- ・第 7 回全日本大学女子駅伝競走8 ページ
- ・平成 21 年度秋季三秀総会8 ページ
- ・自己記録更新者一覧9 ページ
- ・会計からのお知らせ10~11 ページ
- ・今後の予定、編集後記12 ページ

厳寒の候、会員の皆様にはおかわりなくお過ごしのこととお喜び申し上げます。何かとお心にかけて下さいましてありがとうございます。本年も東北大学陸上競技部を宜しくお願い致します。

今号では主に第 64 回宮城県駅伝競走大会、第 25 回宮城県女子駅伝競走大会、日本体育大学長距離記録会の結果をお伝え致します。

#主将、女子主将、各 PC より今年の抱負

～主将抱負～

岩崎 辰哉(三重・桑名)

年も新しくなったということで今年の目標を表明させていただこうと思います。

第一の目標は今年も「七大戦総合優勝」を掲げます。ただし今年は一歩踏み込んで、「全種目得点」ということも付け加えたいと思います。

七大戦以外の競技会については、東北インカレでは男子総合 3 位、女子総合 8 位、全日本インカレには複数人出場、さらに全日本大学駅伝、及び全日本大学女子駅伝への出場をチームとしての目標とします。

上記の目標を達成できるよう、私たちは今年も頑張ります。詳しいことは近日中に発行予定の三秀第 56 号に書きますので、そちらもぜひご覧ください。

～女子主将抱負～

千葉 絵里子(岩手・盛岡第三)

パートに関係なく、先輩後輩に関係なく、競技力に関係なく、互いに影響し合い、高め合い、明るい女子チームを目指します。陸上と本気で向き合い、取り組んでいくことに、人数が少ないことや実力の有無は関係ないと私は思っています。七大戦と駅伝予選会に重点をおき、女子部員全員が成長し、女子チームとして、力を発揮していけるように頑張りたいと思います。応援よろしく申し上げます。

～短距離 PC 抱負～

高林 佑輔(東京・国立)

今年の短距離パートは4継、マイルの両リレー種目を強化したいと思っています。リレー種目が盛り上がると全体の雰囲気はよくなると思います。また、リレーのメンバー競争で短距離全体のレベルが上がることを期待しています。しかし何より、リレーは楽しいです。4継では、個人のレースでは味わえないスピード感、バトンパスの緊張感などがいいです。マイルでは普段のレースではあんなに憂鬱な距離の400mがとても楽に積極的に走れます。最終種目のマイルがいい結果だととても気持ちよく大会を終えられますよね。また、リレーの強さはそのチームの短距離の強さだと思います。

フィールドに頼りっきりにならない強い短距離パートにしていきたいと思っています。応援よろしく願いいたします。

～長距離 PC 抱負～

工藤 佑馬(青森・田名部)

今年も長距離パートは最大目標として全日・全女を掲げます。

昨年、男子は5年ぶりとなる全日出場を果たしました。しかし、全国との差、全国という舞台上で戦うことの難しさを痛感する結果となってしまいました。今年は去年の経験を活かし、福祉大に勝ち「全日で戦う」ということを目指します。具体的には5000m14'30"を切り、且つ10000m29分台で走れるランナーを複数養成すること、レギュラー8人+補欠3人の平均タイムは14分台、チーム全体の平均タイムは15分台に押し上げるということを目指します。この目標を達成するために、最初と最後は速めのペースで走る練習をベースにしていきたいと思っています。また、練習に臨む姿勢として、全国を経験した層に食らいつくという気概を持って走って欲しいと思います。

女子においては昨年の全女予選は厳しい結果となってしまいましたが、来年は怪我人なく臨み、福祉大の牙城を崩して欲しいと思います。僕の課すメニューで伸びが大きいのはむしろ女子のほうだと思っていますので、継続して練習を積んで欲しいと思います。また、近年苦戦が続いている七大戦では、男女合わせて25点を目標にして頑張ります。

今年1年、長距離パートを宜しく願い致します。

～中距離 PC 抱負～

田村 淳(群馬・沼田)

今年度は中距離部員に恵まれ、今季の 6 傑も高いレベルに達することができました。しかしながら、主要な大会では少し物足りない部分があり、コンスタントに活躍できるまでにはまだ大きな壁があると感じています。それでも、今年度中距離としては勢力拡大の一步を踏み出すことができたので、来年度は中距離パートの飛躍の年になると思います。

七大戦は勿論、他の対抗戦でも中距離を盛り上げていけるように頑張りますので来年度も応援よろしくをお願いします。

～跳躍 PC 抱負～

鈴木 一輝(埼玉・浦和)

前々から少数精鋭の跳躍パートでしたが、4 年生が抜けてしまうと、さらに人数が少なくなってしまう、今以上に一人一人が対抗戦でしっかり点を取っていかねばなりません。そのためにも個々人が記録を伸ばしていくことが必要ですので、練習にも真剣に取り組んでいきたいと思っています。

跳躍パートとしての目標はやはり、七大戦優勝です。昨年の七大戦の跳躍パートのできを振り返ってみると、走高跳だけ得点が 0 点だったようです。また、得点をした種目であっても、ほとんどが 1 人の入賞だったので、寂しい結果となりました。来年は全部の跳躍種目で得点をし、また跳躍パート全員が得点を取れるように取り組んでいきたいと思っています。よろしくをお願いします。

～投擲 PC 抱負～

杉本 和志(静岡・藤枝明誠)

今年の投擲パートも七大戦では投擲全種目優勝を目標に掲げたいと思います。昨年は僕の力足らずで、叶いませんでしたので今年こそは必ず勝ち取りたいと思います。また七大戦に限らず、多くの大会で一人でも多くの選手が表彰台に乗れるように頑張りたいと思います。もちろん昨年に続き、全国区の大会にも多くの選手が出場できるように頑張ります。

他大学に比べると身体の小さい選手が多いので、筋力作りはもちろんのこと、技術面に特に力を入れていきたいと考えています。

頼りになる投擲パートを目指して皆で得点を稼いでいきますので、今年も応援よろしくをお願いします。

#第64回宮城県駅伝競走大会(11/15) 於 石巻

11月15日(日)に石巻市総合運動公園・北上川周回コースで第64回宮城県駅伝競走大会が開催されました。東北大学からは昨年に比べ1チーム増え、計3チームが出場しました。当日は強風が吹き荒れ、川沿いや田圃道を走る本駅伝大会では過酷なコンディションの中行われました。

東北大Aチームは全日出場メンバーで構成されました。風の影響は受けましたが、昨年同様4位でフィニッシュしました。前半から1位の福祉大に独走体制を築かれてしまい2~5位でレースを進める形となりましたが、1・4・7区では区間2位の記録を残すなど善戦しました。

Bチームは全日のレギュラー争いを演じた1年生を中心とした勢いのある面々で構成され、過去のBチームの最高順位を大きく上回る10位でフィニッシュしました。4区で区間4位の好走、6・7区で順位を6つも上げるなど終始盛り上がりを見せました。

Cチームも例年のBチームに劣らない健闘を見せ、25位でフィニッシュしました。こちらも1年生中心のメンバーで今後の可能性に期待が持てる走りを見せてもらいました。

A チーム

区間(距離)	氏名(学年)	総合タイム[順位]	区間タイム(順位)
1区(6.5km)	大場 直樹(3)	20' 27"[2]	20' 27"(2)
2区(6.7km)	小林 和也(M2)	41' 35"[4]	21' 08"(7)
3区(5.9km)	尾形 洋平(2)	1" 01' 42"[4]	20' 07"(11)
4区(8.4km)	島田 健作(M2)	1" 28' 21"[3]	26' 39"(2)
5区(10.1km)	林 亮輔(M1)	1" 59' 30[5]	31' 09"(5)
6区(10.2km)	尾形 翔平(1)	2" 23' 13"[4]	33' 43(9)
7区(6.9km)	平 聖也(4)	2" 55' 29[4]	22' 16"(2)

B チーム

区間(距離)	氏名(学年)	総合タイム[順位]	区間タイム(順位)
1区(6.5km)	近藤 一樹(1)	22' 06"[17]	22' 06"(17)
2区(6.7km)	菅野 均(1)	43' 44"[14]	21' 38"(12)
3区(5.9km)	森部 俊介(1)	1" 04' 45"[15]	21' 01"(23)
4区(8.4km)	阿部 史滉(1)	1" 32' 04"[10]	27' 19"(4)
5区(10.1km)	木村 慎太郎(1)	2" 06' 02"[16]	33' 58"(24)
6区(10.2km)	川口 亮平(M2)	2" 39' 33"[13]	33' 31"(8)
7区(6.9km)	鈴木 雄輔(4)	3" 02' 40"[10]	23' 07"(8)

C チーム

区間(距離)	氏名(学年)	総合タイム[順位]	区間タイム(順位)
1区(6.5km)	石代 剛之(1)	22' 37"[27]	22' 37"(27)
2区(6.7km)	南 敦(1)	45' 35"[26]	22' 58"(27)
3区(5.9km)	小平 圭一(H18年卒)	1" 06' 09"[23]	20' 34"(18)
4区(8.4km)	箭内 正輝(3)	1" 35' 37"[22]	29' 28"(20)
5区(10.1km)	杉山 祥太郎(1)	2" 09' 11"[22]	33' 34"(20)
6区(10.2km)	工藤 佑馬(2)	2" 46' 44"[25]	37' 33"(36)
7区(6.9km)	中道尚史(4)	3" 13' 14"[25]	26' 30"(31)

第 25 回宮城県女子駅伝競走大会(11/23) 於 古川

11月23日に宮城県女子駅伝競走大会が大崎市古川で開催されました。東北大学は今年も昨年に続き入賞を果たし、総合で5位となりました。

今回は1年生の及川がラストの5区で区間2位の走りを見せるなど全選手が好走し、過去最高タイムの1" 17' 12" をたたき出しました。

区間(距離)	氏名(学年)	総合タイム	区間タイム(順位)
1区(6.0km)	永井 瑞希(M1)	21' 53"	21' 53"(8)
2区(4.0975km)	大淵 真波(M1)	37' 15"	15' 22"(10)
3区(3.0km)	千葉 絵里子(3)	48' 27"	11' 12"(9)
4区(3.0km)	佐藤 仁美(2)	59' 26"	10' 59"(9)
5区(5.0km)	及川 まりや(1)	1" 17' 12"	17' 46"(2)



#第204・205回日本体育大学長距離記録会(11/21~22)(12/5~6) 於 建志台

11月21日(土)・22(日)と12月5(土)・6(日)日本体育大学建志台キャンパスにて第204・205回日本体育大学長距離記録会が行われました。多くの選手が自己記録更新を果たし、大場(3)が歴代3位、永井(M1)が歴代2位の好記録を出すなど、シーズンを締めくくるにふさわしい内容となりました。

第204回結果

男子 5000m

組	氏名(学年)	記録	順位
6	菅野 均(1)	15' 55" 98	14 着
7	木村 慎太郎(1)	15' 51" 56	17 着
10	尾形 洋平(1)	15' 47" 13	24 着
12	林 亮輔(M1)	15' 19" 46	23 着
20	島田 健作(M1)	15' 09" 77	12 着

男子 10000m

組	氏名(学年)	記録	順位
1	島田 健作(M1)	31' 31" 01	12 着

第205回結果

男子 5000m

組	氏名(学年)	記録	順位
28	大場 直樹(3)	14' 38" 72	11 着

男子 10000m

組	氏名(学年)	記録	順位
1	尾形 洋平(2)	33' 13" 92	10 着
2	林 亮輔(M1)	32' 22" 69	19 着

女子 5000m

組	氏名(学年)	記録	順位
20	永井 瑞希(M1)	17' 29" 60	10 着

第 12 回仙台市陸協長距離競技会(12/5) 於 宮城野原

12月5日(土)宮城野原で仙台市長距離競技会が行われました。風もなく気温も高くない絶好のコンディションの中、多くの選手が自己ベストを更新し実り多い大会となりました。

男子 3000m

組	氏名(学年)	記録	順位
1	島田 健作(M1)	8' 59" 88	1 着

男子 5000m

組	氏名(学年)	記録	順位
1	工藤 佑馬(2)	16' 52" 62	12 着
2	早坂 達也(3)	15' 24" 05	4 着

女子 5000m

組	氏名(学年)	記録	順位
1	千葉 絵里子(3)	19' 17" 32	2 着
1	佐藤 仁美(2)	19' 21" 81	3 着

第 7 回全日本大学女子選抜駅伝競走(12/23) 於 つくば

12月23日に行われた第7回全日本大学女子選抜駅伝競走に東北学連選抜として永井(M1)が出場しました。永井はラストの6区(7.67km)を走り、区間順位は1" 47' 46" で17位でした。東北学連選抜は総合順位が20チーム中16位でした。

詳細な結果は <http://www.tv-tokyo.co.jp/ekiden/> に掲載してあります。

平成 21 年度秋季三秀総会(12/11) 於 川内サブアリーナ

開会の後、佐藤会長、彦坂副会長、吉田監督、宮崎幹事長から挨拶がありました。昨年度に続いて議長に田中裕志さん(M1)が選出されました。役員改選で福島雄司さん(H11年卒)が新たに幹事に加わりました。その後、平成21年度活動報告、平成21年度会計報告、平成22年度予算審議、新PCから抱負発表が行われました。

出席して下さった先輩方(敬称略)

宮崎鉄男 小笠原卓 佐藤健二 佐藤源之 眞山隆徳 城戸隆 彦坂幸毅 管野均志
久保正樹 吉田真人 田中裕志

ご出席ありがとうございました。抜けている方がいらっしゃるかもしれませんがご容赦ください。(特に院生の方)

#自己記録更新者一覧

<男子>

・3000m

島田 健作(M1) 8'59"88 東北大歴代 2 位 (仙台市陸協長距離競技会)

・5000m

大場 直樹(3) 14'38"72 東北大歴代 3 位 (第 205 回日体大記録会)

早坂 達也(3) 15'24"05 (仙台市陸協長距離競技会)

尾形 洋平(2) 15'47"13 (第 204 回日体大記録会)

木村 慎太郎(1) 15'51"56 (第 204 回日体大記録会)

菅野 均(1) 15'55"98 (第 204 回日体大記録会)

<女子>

・5000m

佐藤 仁美(2) 19'21"81 (仙台市陸協長距離競技会)

永井 瑞希(M1) 17'29"60 東北大歴代 2 位 (第 205 回日体大記録会)

#会計からのお知らせ

<平成 22 年度 会費納入のお願い>

本年度は、田澤央充が会計を務めさせていただきます。よろしくお願いいたします。

昨年度も三秀会会員の皆様の温かなご支援のもとに、無事数々の大会に参加することができました。現役部員一同、大変感謝しております。本年度もご支援何卒よろしくお願いいたします。

なお、過去 2 年間で会費納入の無い会員の方への三秀送付(春頃予定)を見合わせております。会費納入を万一お忘れになっている場合、是非納入をお願いいたします。

また、七十歳以上の方の会費につきましては免除となっておりますが、ご寄付をよろしくお願いいたします。

三秀会費規定 一般： 年額一口 1000 円 3 口以上
陸上競技部部員(学部生)： 年額一口 500 円 3 口以上

- ・会費は他年度への充当をご遠慮しております。ご入金はすべて当該年度会費として扱わせていただきます。
- ・ご夫婦の連名による入金の場合、お一方の未納通知に未納と印刷される場合がありますが、適切な認識の下、お取扱しております。ご了承ください。
- ・特別な場合を除いて会員各位様によるご入金はすべて「三秀会費」として扱わせていただきます。

(1) 郵便振込

送金先：郵便振替口座番号 02270-3-9099

口座名：東北大学 陸上競技部 三秀会

- ・金額の前に¥記号をつけないでください。
- ・口座番号は右詰めでご記入ください。
- ・通信欄に下記事項を必ず明記してください。

氏名 (卒業年度)

入金金額 円 内訳 (会費 その他)

(2) 銀行振込

振込にはご本人名義でお願いいたします。

口座番号：りそな銀行 仙台支店 普通 315-1305830

口座名義人：三秀会

(3)クレジットカード

VISA、MASTERCARD、DCカードでの送金が可能です。

郵便またはFAXにて送金通知票を幹事《岩松正記》宛にお送りください。

連絡先 岩松 正記

〒980-0816 仙台市宮城野区小田原金剛院丁5-1 ロイヤルビル6階

Tel :022-355-7620//Fax:022-355-7619

送金通知票フォーム

クレジットカード 送金票通知票

振込者氏名	_____	(_____ 年卒)	
クレジットカードの種類	<input type="checkbox"/> VISA	<input type="checkbox"/> MASTERCARD	<input type="checkbox"/> DCカード
クレジットカード番号	_____		
有効期限	_____ 年	_____ 月	
カード所有者氏名	(上記氏名と異なる場合、お名前をお書きください。)		

カード所有者署名	_____		
入金金額	_____ 円	内訳 (会費	_____ その他 _____)

#今後の予定

3月15～19日 春合宿(埼玉)

#編集後記

三秀会員の皆様、本年も東北大学陸上競技部をどうぞよろしくお願い致します。

今年もやはり寒いですね。こたつから出られない日々が続いております。こたつがこんなにも良いものであることを仙台に来てやっと知りました。さらにこたつに入りながらみかんを頂くというのは最高ですね。何個でも食べられるような気になってしまいます。このままではひきこもりになってしまいますね。人間にも冬眠というものがあれば良いのにと思ってしまうこともあります。まあ現実にはないですから皆様も寒さに負けず、今年が良い年となるように活動していきましょう。

文責 副務 杉本 和志 田村 淳